

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 30日

香川県知事 殿

提出者

住 所 香川県仲多度郡多度津町東港町1番地1

氏 名 多度津造船株式会社

工場長 諸石 和利

電話番号 0877-33-2111



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	多度津造船株式会社
事業場の所在地	香川県仲多度郡多度津町東港町1番地1
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	製造業
② 事業の規模	資本金:1億円
③ 従業員数	約175人(協力会社従業員含めると約1000人)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物の発生⇒分別後、色分け専用缶に廃棄⇒毎日、廃棄専用缶内容物を回収⇒工場内の仮集積場にて分別し仮保管⇒委託業者に回収依頼⇒委託業者が、引き取り適切に処分 (継続実施)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

工場長 ⇒ 各担当部長 ⇒ 各工程チーム長 ⇒ 施設管理チームに各工程より集積場までの廃棄物の運搬を依頼
 ⇒ 生産管理G 施設管理T(リサイクル)担当 ⇒ 施設管理T(リサイクル)が集積場にて分別
 ⇒ 生産管理G 施設管理T(リサイクル)担当 ⇒ 処理業者に処分委託
 ⇒ マニフェスト発行管理 施設管理T(リサイクル)担当

(産廃処理責任者) 施設管理Tチーム長
 (産廃処理施設責任者) 施設管理Tリサイクル 作業長
 教育、研修、情報公開を行う

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】							単位:t
	産業廃棄物の種類	鉦さい	汚泥	廃油	動物のふん尿	木くず	紙くず	混合廃棄物
	排出量	361.52	318.89	3.27	6.00	172.44	43.66	10.61
	廃プラスチック類	金 属 く ず						
	139.09	32.78						

(これまでに実施した取組)
 ・再生可能な紙くず、古紙を分別し有価で売却
 ・ペットボトルを分別し有価で売却。
 ・廃棄物より分別した金属屑を有価にて売却。
 ・汚泥脱水機を増設して未処理汚泥の減量を図る

②計画	【目標】							単位:t
	産業廃棄物の種類	鉦さい	汚泥	廃油	動物のふん尿	木くず	紙くず	混合廃棄物
	排出量	354.29	312.51	3.20	5.88	168.99	42.78	10.40
	廃プラスチック類	金 属 く ず						
	136.31	38.24						

(今後実施する予定の取組)
 ・操業時数昨年実績より10%増加が見込まれており、産業廃棄物排出量が比例し増加することが予測される。
 排出量/操業時数=係数をたて、排出量を予測。予想数値から3%削減することを目標とする。
 ・分別投棄取組の啓発活動強化。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
 ・種類:木屑、廃プラ、紙類、鉦さい、汚泥、廃油、金属屑、ダンボール、古紙、ペットボトル、作業服類、シート類、ホース類、安全保護具類、裏あて材、アルミ缶、スチール缶、廃乾電池・取組:重機並び手分別
 ・機密文書処理の再選別により、不必要な処分が無いが見直し

②計画 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
 ・溶接・切削カス専用廃棄缶を導入。磁石を用い鉄分と非鉄とに分別。重量のかさむ鉄分は有価にて売却、非鉄分のみ鉦さい処理とすることで廃棄重量削減を図る。
 ・見える化活動の一環として、構内に設置してあるモニターを用い、映像で産業廃棄物の分別について周知する事で、従業員の分別への意識向上を図る
 ・廃乾電池処理専用施設の利用
 ・SDGs啓発活動

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】								単位:t							
	産業廃棄物の種類	紙	さ	い	汚	泥	塵	油	動物のふん尿	木	く	ず	紙	く	ず	混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0			0			0					0			0
	廃プラスチック類	金	属	く	ず											
		0			0											
(これまで実施した取組) なし																
②計画	【目標】								単位:t							
	産業廃棄物の種類	紙	さ	い	汚	泥	塵	油	動物のふん尿	木	く	ず	紙	く	ず	混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0			0			0					0			0
	廃プラスチック類	金	属	く	ず											
		0			0											
(今後実施する予定の取組) なし																

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(今後実施する予定の取組)								単位:t							
	産業廃棄物の種類	紙	さ	い	汚	泥	塵	油	動物のふん尿	木	く	ず	紙	く	ず	混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0			0			0					0			0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0			0			0					0			0
	廃プラスチック類	金	属	く	ず											
		0			0											
		0			0											
(これまで実施した取組) なし																
②計画	【目標】								単位:t							
	産業廃棄物の種類	紙	さ	い	汚	泥	塵	油	動物のふん尿	木	く	ず	紙	く	ず	混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0			0			0					0			0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0			0			0					0			0
	廃プラスチック類	金	属	く	ず											
		0			0											
		0			0											
(今後実施する予定の取組) なし																

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】								単位:t							
	産業廃棄物の種類	鉄	さ	い	汚	泥	廃	油	動物のふん尿	木	く	ず	紙	く	ず	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0			0			0		0			0			0
	廃プラスチック類	金	属	く	ず											
	0	0														
(これまでに実施した取組) なし																
②計画	【目標】								単位:t							
	産業廃棄物の種類	鉄	さ	い	汚	泥	廃	油	動物のふん尿	木	く	ず	紙	く	ず	混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0			0			0		0			0			0
	廃プラスチック類	金	属	く	ず											
	0	0														
(今後実施する予定の取組) なし																

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(今後実施する予定の取組)								単位:t							
	産業廃棄物の種類	鉄	さ	い	汚	泥	廃	油	動物のふん尿	木	く	ず	紙	く	ず	混合廃棄物
	全処理委託量	361.52			318.89			3.27		6.00			172.44		43.66	10.61
	優良認定処理業者への処理委託量	361.52			0			3.27		0			4.36		43.66	10.61
	再生利用業者への処理委託	0			0			1.55		0			172.44		43.66	0
	認定熱回収業者への処理委託	0			0			0		0			0		0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0			0			0		0			0		0	0
	廃プラスチック類	金	属	く	ず											
	139.09	32.78														
	139.09	32.78														
	139.09	0														
	0	0														
	0	0														
(これまでに実施した取組) ・埋立処分重量を極力減らす。																

【目標】		単位:t						
		産 業 廃 棄 物 の 種 類	鉱 さい汚	泥 廃	油 動物のふん尿	木 く ず	紙 く ず	混 合 廃 棄 物
②計画	全処理委託量	354.29	312.51	3.20	5.88	168.99	42.78	10.40
	優良認定処理業者への処理	354.29	0	3.20	0	3.38	42.78	0
	再生利用業者への処理委託	0	0	2.18	0	168.99	42.78	0
	認定熱回収業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
	廃プラスチック類	金 属 く ず						
	136.31	38.24						
	136.31	38.24						
	80.42	0						
	0	0						
0	0							
(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者との取引委託の比率を上げていく。								
※事務処理欄								